

二〇一三年 十月

## 「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

### 今月の言葉

たった一言が人の心を傷つける  
たった一言が人の心をうるおす

殿村進

言葉は、人に喜びや勇気を与える反面、人を傷つけ、悲しませてしまう面もあります。教室での友達との会話、クラブ活動での会話、家での親や兄弟との会話など、一度自分自身と関わりのある人との会話を振り返ってみましょう。

平安学園の三つの大切の一つに「言葉を大切に」が掲げられています。「正確な言葉」・「やさしい言葉」・「ていねいな言葉」が日常で交わされているか、自分自身に問いかけてみてください。

### 今月の聖語

嫉みぶかく、吝嗇<sup>けち</sup>で、偽る人は、ただ口先だけでも、美しい容貌によっても、「端正な人」とはならない。

### 『ダンマパダ』

『ダンマパダ』とは、釈尊の教えを集めたもので、人間そのものへの深い反省や生活の指針を短い句によって示したものです。

釈尊は、たとえ良いことを言ったり、外見を整えても、心の中で嫉み深く、けちで、偽る人は「端正な人」にはならないと述べています。

私たちは、自分をよく見せるために、身なりを整え、口では都合の良い事を言っていることがあるのではないのでしょうか。釈尊が述べるように、大切なのは人間の内面にあるものかも知れません。いくら上辺を着飾っても、心が貧しければ「端正な人」にはならないという教えから、内面を見直すことの大切さを改めて学ぶことが出来ると思います。